

川崎異業種研究会(以下略称川異研)は、当所会員企業から成る異業種交流のグループです。昭和62年に設立され、今年で22年目を迎えております。

川崎異業種研究会のホームページがリニューアルされました。 <http://www.kawaiken.jp/>

10月定例会報告

10月15日(木)当所会議室にて18時より開催、参加者14名を得て「3分間スピーチ」と題し、各メンバーの近況報告を行った。

来年9月までは黒字の見込みで、3名の新入社員を迎え入れる計画があり、非常に明るい見通しであるとの話もあったが、総じて各企業とも、業績は非常に厳しく売上は対前年比4割～6割まで落ち込んでいる状況である。各企業とも、雇用調整助成金の申請、残業代の削減、電気代などの経費の節約などにより現在の不況を乗り越えるために必死に耐え忍んでいる状況であるとの報告が行われた。業績は非常に悪いながら各メンバーは前向きに取り組んでいるとの印象を受けた。

その後、懇親会場に席を移し、盛会のうちに終えた。



10月分科会報告

平成21年10月22日(木)当所会議室にて18時より、11名の参加者を得て開催された。

(1)株式会社タムラコーポレーション代表取締役田村隆氏から、昨今の厳しい経営環境のなかで、同社が実行している間接経費削減の手法について説明があった。田村社長はコンサルティング会社「株式会社M&Sコミュニケーションパートナーズ」の指導を受けて、手はじめに携帯電話の経費削減に着手して約30以上の節減に成功している。成功報酬型のコンサルティングなので、経費節減額の確定にノウハウが集約されているようである。

(2)株式会社タムラコーポレーション新横浜営業所副所長近藤博光氏から「フォトマーケティングサービス」をご紹介いただいた。「フォトマーケティングサービス」は同社が経営革新法の認定を受けたメインテーマである。既存のビジネスに顧客管理ソフトの活用と写真データを組み合わせた新たなビジネスモデルを展開中である。同社が行うサービスを「写真データ」で精度を確かめることにより、お客さまの信頼度が飛躍的に向上したとのことである。

(3)株式会社タムラコーポレーション開発部営業開発グループマネージャー梯正樹氏から、10月7・8日に開催された、

国内最大規模の広告・マーケティング専門展示会と称する「第8回ファインドスターフォーラム」参加報告を頂いた。広告宣伝に占める紙媒体のポスティングビジネスの急激な減少に危機感を持つ、同社のチャレンジ精神に強い感銘を受けた。

田村社長のチャレンジ精神と内容の斬新さが印象的で、若手社員の懸命なプレゼンに受講者の真剣な質問が飛び交い、有益な分科会であった。

その後、懇親会場に席を移し、盛会のうちに終えた。



川異研HP → <http://www.kawaiken.jp/>

加入のお問い合わせは → 事務局:多摩麻生支所 TEL 044-932-1100